

大阪市立横堤小学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】実施報告書
(補足説明資料)

本校では、保護者及び児童アンケートの分析を踏まえ、『横堤小学校 学校教育改善アクションプラン』を策定し、教育活動の向上をめざし取り組みを進めている。今年度は、2つの「きょういく」『共育』（大人も子どもも共に学び育つ教育）・『響育』（心に響く教育）をテーマに、教育活動の改善に取り組んでいる。

1 取組内容について

1-1 取組を実施する必要性

全国学力・学習状況調査において、国語A問題については、全体的には大阪市平均を3ポイント上回っており、全国平均を1.7ポイント下回っている。特に「読むこと」に関しては、全国平均より2.6ポイント下回っている。B問題に関しては、全体的に大阪市平均を5ポイント、全国平均を1.3ポイント上回っている。

また、学力経年調査における国語では、全体的に標準化得点では大阪市を上回っているが、「読み取り」や「文の構成」の部分で平均と同じか平均を下回っている学年がある。

1-2 取組を実施することにより期待できる効果

本校では、リーディングスキルテスト（以下RST）の視点に基づく授業実践を通して、子どもたちに正しく読み取る力や正しく表現する力を育成することで、全ての学習の基礎となる「読んでわかる力・聞いてわかる力・見てわかる力」を育成することが期待できる。

1-3 具体的な実施内容

① 6年生で「リーディングスキルテスト」を実施し、現状における「読解力」を分析する。

・「読解力」のスキルアップに向けて講師（指導主事等）を招聘して、教員の指導力の向上を図った。

・「読解力の向上」「学力向上推進モデル校」「プログラミング学習」の取り組みにより、学習の深化、学力の向上をめざす。

1-4 取組に対する達成状況（A～D）及びその評価理由

取組に対する達成状況：B

・小学校学力経年調査における「読むこと」の領域では、すべての学年が大阪市の平均を上回った。しかしながら、「国語の授業はわかりやすい」の項目では、肯定的な回答は89.6ポイントであったため、B評価とした。

2 総論

2-1 年度目標の達成状況、総評

本校では、上記の取組を実施することにより「小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。」という年度目標に対して、4教科合計の標準化得点を同一母集団で比較したところ、4年生では1.0ポイント上回り、5年生では0.2ポイント下回った。6年生は昨年度と変わらない結果であったため、B評価とした。

全国学力・学習状況調査の結果において、国語科における平均が全国を下回っている。読解力を高めるために「リーディングスキルテスト」を実施したが、このデータを生かし、児童の現状をしっかりと把握して読解力アップへつなげていきたい。音読などの家庭学習も保護者が意識を持って見たり聞いたりすることで力がつくと考ええる。保護者への意識づけのためにPTAとも連携していく必要がある。

2-2 学校協議会における意見

全国学力・学習状況調査や学力経年テストの結果を見ると、おおむね学力的には力をつけているようである。今年度は「リーディングスキルテスト」を行い、読解力の把握に努めたが、この結果を踏まえて、来年度以降の学習に活かしてほしい。